

品質は語る……

白松がモナカ 白松がヨーカン



涼やかな夏の菓子 『夏の思い出』

期間限定



1函3個入 535円

販売/8月16日(日)から

※直営店にてご用命をお待ち申し上げております。

【参考資料】①財団法人仙台市営交通事業振興公社「1996年
文集 仙台市電民が綴る五十年の軌跡」文堂
②仙台市交通局「1976年」仙台市電「その50年
昭和史」にも「本文堂」

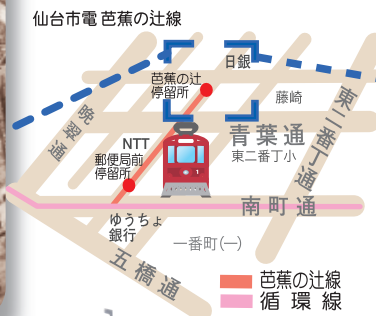
【昭和4年頃】



昭和3年から19年まで走っていた「芭蕉の辻線」。七十七銀行本店だった洋館(右奥)はその後、日銀仙台支店の建物となったが、20年7月10日の仙台空襲で失われてしまった。

では27メートルの高さ。その前を走る仙台市電は、創業時から活躍した路面電車モハ1型。当時は自動車が非常に珍しい時代で、「車」と言えば人力車や馬車、大八車。路上を行く巨大な電車や堂々とそび建つ洋館は、仙台の近代化の表徴として市民の関心や注目を集めたことでしょう。ちなみにこの路線は「芭蕉の辻線」。でも駅は「郵便局前」と「芭蕉の辻」の2駅だけ。既に循環線が走っていた南町から芭蕉の辻までのたった300メートルを走る短い路線、しかも昭和3(1928)年4月の開通から16年後の昭和19(1944)年3月には廃止された幻のような路線でした。なぜこんな短距離の路線が必要だったのか？東北随一の繁華街に、なんとしても市電を通したかったのかもしれない。洋館は残っていませんが、この車両は今もちゃんと「仙台市電保存館」に。みなさんも出かけてみてはいかがですか？

sepia色した写真の中の チンチン電車。仙台の どこを走っているの？



【現在の風景】



仙台の 遺産

[市電]

愛称・通称	チンチン電車／市電
正式名称	路面電車

市街地を走る路面電車の通称。市営(公営)が多いが、民間会社が運行する場合や東京都電なども含め「市電」と称されることがある。【チンチン電車】とも呼ばれるのは、合図(軌道上の人や車への警告/運転手と車掌間の連絡-降車客の有無・客の乗降終了・緊急停止要請等-)に車載の鐘を鳴らしたため。現在ではワンマン化や、降車ブザー/クラクションが使われ、一部の路線以外で鐘音を聞くことは無い。

「モハ1型」



仙台市電の初代車両「モハ1型」。昭和40年まで活躍した。レトロなデザインで人気の観光循環バス「るーぶる仙台」は、この車両がモチーフ。

車内の床も板張り。天井の照明もレトロ口。座席には18人座れた。(定員40名)

八角形の瀟洒な洋館の横を、レトロな路面電車が走る。なかなか絵になる光景です。このセピア色の写真は、昭和初期当時の仙台市一の繁華街、芭蕉の辻から一番町にかけて。「歩いて行けるのに『市電に乗りた』とせがむのが常だった。…芭蕉の辻は仙台の中心で、お城のような建物や赤煉瓦造りの大きな西洋風の建物があり電車を降りるといつも感心して眺めたものである(資料①)」と、当時の仙台つ子の記憶に鮮明に残る煉瓦の建物と路面電車。洋館は七十七銀行本店で明治36(1903)年建設のドイツネスサンズ様式。仙台初の地下室も備えた2階建てで、塔の先端ま